**第66回ガラスおよびフォトニクス材料討論会, GIC21　講演要旨作成要領**

**締切: 2025年11月10日(月)**

講演申込締切後、電子メールで講演番号を通知します。要旨提出時のファイル名は講演番号+講演者氏名としてください。

例）講演番号がA-01の場合、A-01name.pdf

**様式：**PDFファイル（上限5MB）

 **主題Ⅰ：A4用紙2枚，主題ⅡおよびⅢ：A4用紙半分**

**主題I 『第66回ガラスおよびフォトニクス材料討論会』**

 **○ガラスやフォトニクス材料に関わる基礎科学および技術に関する研究発表**

**(注)第21回ガラス技術シンポジウム(GIC18)招待講演者の方も、こちらのテンプレートをお使いください。なお、英語口頭発表の方はHPの英語版のテンプレートをお使いください。**

1. 原稿は、口頭またはポスター発表１件につき**A4用紙 ２枚**です。マージンは**上下左右それぞれ25mm**です。
2. 本要領を参考に、講演タイトル、所属（略称）、氏名（講演者に○印）、英文Abstract、本文（日本語または英語）を書いてください。**講演タイトルは強調文字（ボールド）**で書いて下さい。講演タイトル、日本語の所属と氏名、英文Abstractの後は、１行空けて下さい。
3. 英文Abstractは講演タイトル、氏名、所属（略称）、概要、問合先（e-mailまたはFAX）の順に書いて下さい。**講演タイトルは強調文字（ボールド）**で書いて下さい。Abstractは50～100語としてください。各項目間はスペースとスラッシュで区切って下さい。また、予稿集本文との間は線で区切って下さい。フォントは明朝系、サイズは10.5ポイントを推奨いたします。
4. 単位はSI単位を使用して下さい。図表のキャプションは、なるべく英語で書いて下さい。

**- - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - -**

**主題II　共催企画『第21回ガラス技術シンポジウム(GIC21)』(ポスター発表の方)**

**○成形・加工，融液特性，高温物性，開発基盤を支える技術及び、企業の製品・技術紹介について。基礎科学だけでなく技術の紹介も大歓迎です。(ポスター発表)**

1. 原稿は、ポスター発表１件につき**A4用紙 半分**です。
2. 英文Abstractは不要です。本要領を参考に、講演タイトル、所属（略称）、氏名（講演者に○印）、問合先（e-mail、FAXまたは研究室URL等）、そして本文（日本語または英語）を書いてください。講演タイトル、日本語の所属と氏名の後は、１行空けて下さい。フォントは明朝系、サイズは10.5ポイントを推奨いたします。

**- - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - -**

**主題Ⅲ　大学等の研究室紹介　(ポスター発表のみ)**

**○ガラスに関係する大学等の研究室紹介。(ポスター発表)**

1) 原稿は、ポスター発表１件につき**A4用紙 半分**です。

2) 研究室のホームページがある場合はURLを記載して下さい。

**講演要旨送付方法**

１．講演要旨の**PDFファイル**を作成してください。
印刷クオリティーにて、フォントはファイルに内蔵を選択してください。プリンタフォントを使用すると、他の環境で印刷、表示したときに様式が崩れる場合があります。
ファイルサイズは、5MBを上限として作成してください。

２．原稿の**PDFファイルをホームページの講演登録募集からアップロードしてください。**ファイル名は**講演番号name.pdf**としてください。PDFファイルへの変換などでお困りのことがございましたら、事務局にご連絡下さい。

添付ファイル名の例： 講演番号がA-01で名前が東京太郎の場合　→　A-01Tokyo.pdf

|  |
| --- |
| 25×25 mmのスペースをあけてください(この文字は印刷されません) |

**「ガラスおよびフォトニクス材料討論会」および**

**「GIC招待講演」の原稿テンプレート**

 （岡山大学A，阪府大院工B）　○岡山 太郎A，大阪 花子B

**Instruction for Preparation of Manuscript for the 66th Symposium on Glass and Photonic Materials** / ○ Taro Okayama (Okayama Univ.), Hanako Osaka (Osaka Prefecture Univ.) / The manuscript should be type-written on two pages of one side of white A4 (210×297 mm) papers with 20 mm margins on each side. The title should be on the first line in bold capital letters. Author’s name(s)　and affiliation(s) should be presented with the presenting author indicated by a open circle ○. An abstract of 50–100 words in English should be presented following Author’s affiliation. Each segment should be divided using space and slash (/). A single line should be used to distinguish the content. Captions of figure or Table should be written in English.

問合先 : e-mail glass@glass.ac.jp

（本文）

**「主題Ｉ ガラスやフォトニクス材料に関わる基礎科学および技術」および**

**「GICシンポジウム招待講演」の口頭発表とポスター発表の予稿作成テンプレートです。**

**A4サイズ 2ページで作成して下さい。**

|  |
| --- |
| 25×25 mmのスペースをあけてください(この文字は印刷されません) |

**第21回ガラス技術シンポジウム(GIC21)テンプレート**

（桃太郎ガラス研究所A，阪府大院工B）　○吉備 太郎A, 浪速 硝子B

問合先 : e-mail glass@glass.ac.jp

ガラス産業連合会・第18回ガラス技術シンポジウムのポスター発表に関する予稿は、タイトル、所属、氏名、そして問合先と、本文および必要に応じて複数の図表とし、英文Abstractは不要です。

**【注意】　：　主題IIについては、A4用紙半ページに収まるように作成してください。**

**○○大学 △△材料科学研究室の紹介**

|  |
| --- |
| 25×25 mmのスペースをあけてください(この文字は印刷されません) |

　　　　　　　　　（○○大）　岡山太郎, 府大次郎, ○滋賀三郎

　　　　　　　　　　研究室URL:　 URL: http://www.garaken.com

(連絡先) 　glass@glass.ac.jp

**A4用紙上半分に収まるように作成してください。**

英文Abstractは不要です。講演タイトル、所属（略称）、氏名（講演者に○印）、連絡先（e-mail）、そして本文（日本語または英語）を書いてください。講演タイトルと連絡先の後は、１行空けて下さい。

研究室のホームページがある場合はURLを記載して下さい。